

京都大学構内遺跡調査研究年報

2010年度

京都大学文化財総合研究センター

京都大学構内遺跡調査研究年報

2010年度

京都大学文化財総合研究センター

序

本年報は、2010年度に文化財総合研究センターがおこなった、学内の遺跡調査の成果とそれに関連する研究をまとめたものである。第Ⅰ部の3件の調査報告は、それぞれ学内の施設の建設予定地内に残る遺跡を対象としたものであるが、京都盆地の一面を占める北白川を中心とする地域の、先史時代から近世にいたる豊富な資料を得て、過去の成果に新たな情報を加えてまとめたものである。

大学はその地域の文化財の研究や活用に、先導的な役割を果たすとともに、それらの調査成果は有効に活用され、社会へ広く発信することことが求められている。当センターでも調査時の現地での説明会、ホームページなどを通じて情報の公開を図るとともに、大学がおこなう社会へ向けたさまざまな行事のさいには、尊攘堂を利用して過去の発掘調査による出土資料を公開している。この年次報告もこうした情報発信の一端を担うものと考えている。

また第Ⅱ部の紀要においては、京都大学保管の石棒の紹介とそれをめぐる遺跡調査の経緯、植物種実の検出法の開発、構内出土の植物遺存体から求めた炭素14年代の検討、文献に見られる羽束郷に関する解釈の再検討、などをテーマとした多彩な論考が収められている。ご覧いただきご批判をお願いしたい。

なお、この年報で報告した調査を進めるにあたっては、学内学外の多くの関係者および調査機関からご指導とご協力を賜った。第4章の病院構内の調査については、業務協力関係の一環として、京都市埋蔵文化財研究所が発掘を実施し、その資料整理の結果を報告していただいたものである。また、これらの発掘調査を実施する上で、多くのご協力を賜った、京都大学の施設部、医学部の関係各位には、ここに厚くお礼申し上げる次第である。

さらに、2013年3月をもって、文化財総合研究センターの発展・運営に尽力された清水芳裕教授が定年退職される。氏は、昭和54年4月に埋蔵文化財センター（当時）助手に着任されて以来、一貫して京都大学構内遺跡の調査・研究に携わる一方で、土器の胎土分析による産地同定研究において、考古学界をリードしてきた。氏のご恩・ご尽力に深く感謝するとともに、今後の一層のご発展をお祈りしたい。

2013年3月

京都大学文化財総合研究センター長

上原真人

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2010年4月1日から2011年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学文化財総合研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$ $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$ $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE、土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。
Ⅰ：京都大学北部構内B G34区の発掘調査
Ⅱ：京都大学医学部構内A Q18区の発掘調査
Ⅲ：京都大学病院構内A J16区の発掘調査
Ⅳ：京都大学本部構内A T25区の立合調査
（例 ⅠⅠ：京都大学北部構内B G34区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のもの、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影は、それぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、笹川尚紀が担当し、清水芳裕、千葉豊、伊藤淳史、富井眞、磯谷敦子、柴垣理恵子、長尾玲、菊池倫世が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 2010年度

目 次

第 I 部 2010年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 2010年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
第 2 章 京都大学北部構内 B G 34区の発掘調査	3
1 調査の概要	3
2 層 位	3
3 遺 構	7
4 出土遺物	14
5 小 結	50
第 3 章 京都大学医学部構内 A Q 18区の発掘調査	53
1 調査の概要	53
2 層 位	54
3 古代以前の遺物	56
4 遺 跡	58
5 小 結	104
第 4 章 京都大学病院構内 A J 16区の発掘調査	107
1 調査の経過	107
2 層 位	109
3 遺 構	111
4 遺 物	118

5 小 結	136
第5章 京都大学本部構内A T 25区の立合調査	139
1 調査の概要	139
2 調査の成果	140
3 小 結	147
参 考 文 献	148
京都大学構内遺跡調査要項	151
報 告 書 抄 録	160

第Ⅱ部 京都大学文化財総合研究センター紀要XXⅡ

京都大学北部構内採集の石棒

1 はじめに	163
2 採集の経緯	164
3 石棒発見のその後と大学構内の埋蔵文化財	166
4 石棒の観察	172
5 小 結	176

比叡山西南麓における栽培穀物出現期の様相

——レプリカ法による京都大学構内遺跡出土資料の種実圧痕調査——

1 調査の目的と経緯	181
2 レプリカ法について	182
3 対象遺跡と時期区分	184
4 同定結果	189
5 考察と課題	194

北白川追分町遺跡のドングリ集積遺構の炭素14年代	
1	はじめに……………201
2	年代測定試料について……………201
3	考 察……………205
4	おわりに……………211
羽 束 考	
1	はじめに……………213
2	摂津の羽束……………213
3	山城の羽束……………217
4	物部氏と弓矢……………223
5	おわりに……………226
図	版……………卷末

図 版 目 次

- 図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 図版 2 京都大学北部構内 B G 34 区
- 1 砂取り穴完掘後，調査区全景（南から）
 - 2 道路 S F 1 中段階（南から）
 - 3 道路 S F 1 新段階（南から）
- 図版 3 京都大学北部構内 B G 34 区
- 1 道路 S F 1 古段階（北から）
 - 2 道路 S F 1 新段階（北から）
 - 3 道路 S F 1 断面（北から）
- 図版 4 京都大学北部構内 B G 34 区
- 1 中世溝群検出状況（南から）
 - 2 中世溝群完掘後（南から）
 - 3 S X 3 除去後検出の動物足跡（北から）
 - 4 S D 1・S D 2 検出状況（南から）
 - 5 水溜 S E 9（西から）
 - 6 落ち込み S K 1（西から）
- 図版 5 京都大学北部構内 B G 34 区
- 1 縄文早期土器，縄文中期土器，縄文後期土器，縄文晩期土器，弥生土器
 - 2 石鏃，剥片，磨製石斧，磨石
- 図版 6 京都大学北部構内 B G 34 区
- S X 4 出土遺物，S X 7 出土遺物，S X 8 出土遺物，黒灰色土出土遺物，砂取り穴埋土出土遺物(1)
- 図版 7 京都大学北部構内 B G 34 区
- 砂取り穴埋土出土遺物(2)，暗灰褐色土 1・2 出土遺物，赤褐色土 2 出土遺物，赤褐色土 1 出土遺物，表土出土遺物
- 図版 8 京都大学北部構内 B G 34 区
- 軒丸瓦，軒平瓦
- 図版 9 京都大学医学部構内 A Q 18 区
- 1 中世末期～近世遺構全景（南から）
 - 2 中世遺構完掘全景（南から）
- 図版 10 京都大学医学部構内 A Q 18 区
- 1 集石 S X 4（北から）

- 2 土器溜 S X 9 下層 (S E 22 上面・南から)
- 3 集石 S X 11・路面 S F 1 検出状況 (西から)
- 4 井戸 S E 22 (東から)
- 5 井戸 S E 23・S E 24 (南から)
- 6 井戸 S E 31 (北から)

図版11 京都大学医学部構内 A Q 18 区

- 1 井戸 S E 27 (南から)
- 2 井戸 S E 28 (南から)
- 3 井戸 S E 25 (北から)
- 4 井戸 S E 30 (西から)
- 5 調査区東半中世柱穴群 (北から)
- 6 溝 S D 48 調査区南壁断面 (北から)

図版12 京都大学医学部構内 A Q 18 区

古代以前の遺物, S E 25 出土遺物, S E 27 出土遺物

図版13 京都大学医学部構内 A Q 18 区

S X 17 出土遺物, S D 49 出土遺物, S X 9 出土遺物, S E 22 出土遺物(1)

図版14 京都大学医学部構内 A Q 18 区

S E 22 出土遺物(2), S E 29 出土遺物, S D 43 出土遺物, S D 44 出土遺物,
茶褐色土出土遺物, 暗茶褐色土出土遺物, 黄色シルト出土遺物

図版15 京都大学病院構内 A J 16 区

- 1 1 区北半第 3 面全景 (北西から)
- 2 S X 128 (北から)
- 3 S X 120 土器出土状況 (西から)

図版16 京都大学病院構内 A J 16 区

- 1 1 区第 2 面全景 (北から)
- 2 S K 91・140・165・166 (東から)
- 3 S X 121 (北東から)

図版17 京都大学病院構内 A J 16 区

- 1 S K 60・S D 123 (南東から)
- 2 S K 99 断割状況 (南西から)
- 3 S K 101 断割状況 (南から)

図版18 京都大学病院構内 A J 16 区

- 1 S R 215 全景 (北から)
- 2 S R 215 断割状況 (北から)
- 3 S N 3 耕作溝群 (西から)

図版19 京都大学病院構内 A J 16 区

- 1 1 区第 1 面全景 (北から)
- 2 2 区第 1 面全景 (北東から)

- 図版20 京都大学病院構内 A J 16区
 S K166, 調査区東端南部最下層, S X120, S X128, S X57,
 S X121出土遺物
- 図版21 京都大学病院構内 A J 16区
 S K165, S K140, S K91, S K166, S K175出土遺物
- 図版22 京都大学病院構内 A J 16区
 1 軒丸瓦, 軒平瓦 2 S D201, 包含層出土遺物
- 図版23 京都大学病院構内 A J 16区
 1 煉瓦 2 京都帝国大学附属病院関係遺物
- 図版24 京都大学本部構内 A T 25区の立合調査
 1 地点5全景(北西から) 2 地点5西端南壁の層序(北から)
 3 地点8全景(北西から)
 4 地点8東壁掘断面検出状況(北西から)
 5 地点13全景(西から) 6 地点13北壁の層序(南から)
- 図版25 京都大学本部構内 A T 25区の立合調査
 1 地点22全景(東から)
 2 地点22 - b 地点北壁黒色粘質土落ち込み検出状況(南から)
 3 地点25全景(東から)
 4 地点25 - c 地点付近東壁層序(西から)
 5 地点27 - e 地点付近全景(南東から)
 6 地点28北半全景(南から)
- 図版26 京都大学本部構内 A T 25区の立合調査
 1 地点28 - i 地点東壁黒色粘質土落ち込み検出状況(南西から)
 2 地点28 - h 地点東壁茶褐色土落ち込み検出状況(西から)
 3 地点29全景(北東から)
 4 地点29 - k 地点西壁黒色粘質土上面の硬化面検出状況(南東から)
 5 地点30全景(北東から)
 6 地点30 - i 地点西壁灰褐色土落ち込み検出状況(北東から)
- 図版27 京都大学本部構内 A T 25区の立合調査
 1 地点31全景(南東から)

- 2 地点31-n 地点付近北壁層序 (南から)
- 3 地点32全景 (南東から) 4 地点32西壁層序 (東から)
- 5 地点33全景 (北東から) 6 地点36全景 (北から)

図版28 京都大学本部構内 A T 25区の立合調査

- 1 地点37東半全景 (北東から)
- 2 地点37-p 地点灰褐色土落ち込み検出状況 (東から)
- 3 地点38全景 (西から)
- 4 地点38南北方向集石検出状況 (西から)
- 5 地点39全景 (東から)
- 6 地点39-r 地点北壁茶褐色土落ち込み検出状況 (南から)

図版29 京都大学本部構内 A T 25区の立合調査

- 1 地点39西半全景 (東から)
- 2 地点39-s 地点北壁茶褐色土落ち込み検出状況 (南から)
- 3 地点41東半全景 (北西から)
- 4 地点41-t 地点北壁層序 (北西から)
- 5 地点44全景 (南東から) 6 地点44北壁層序 (南から)

図版30 京都大学北部構内採集の石棒

- 1 採集年不明 2 1974年調査
- 3 1972年採集

挿 図 目 次

北部構内 B G 34区の発掘調査		近世～近代の遺構 (下) ……13
図 1 調査区南北畔の層位…………… 4	図 7 縄文土器, 弥生土器……………15	
図 2 調査区東西畔の層位…………… 5	図 8 石器……………16	
図 3 古代～中世の遺構…………… 8	図 9 S X 4, S X 5, S X 7, S X 8 出土遺物……………18	
図 4 道路 S F 1 の変遷…………… 9	図10 黒色土, 黒灰色土出土遺物……19	
図 5 道路 S F 1 の層位……………11	図11 砂取り穴埋土出土遺物(1)……20	
図 6 道路 S F 1 廃絶後の遺構 (上),		

図12	砂取り穴埋土出土遺物(2)……………21	図32	軒丸瓦……………46
図13	砂取り穴埋土出土遺物(3)……………23	図33	軒平瓦……………47
図14	砂取り穴埋土出土遺物(4)……………25	図34	平瓦, 緑釉瓦, 塼……………48
図15	S F 1 石敷, S F 1 東半硬化部, S F 1 上部下層, S F 1 上部中層, S F 1 上部上層出土遺物……………27	図35	錢貨……………49
図16	S X 1, S X 2, S X 3, S D 2, S D 6, S E 6, 赤褐色土 2 上面・溝群, 段差上・溝群出土遺物……………29	医学部構内 A Q 18 区の発掘調査	
図17	暗灰褐色土 1・2 出土遺物(1)……………30	図36	調査地点の位置……………53
図18	暗灰褐色土 1・2 出土遺物(2)……………31	図37	調査区東壁層位……………54
図19	赤褐色土 2 出土遺物(1)……………32	図38	調査区北壁層位……………55
図20	赤褐色土 2 出土遺物(2)……………33	図39	平安時代以前の遺物……………57
図21	北部構内12地点出土緑釉陶器香炉 ……………34	図40	中世 1 期の遺構……………59
図22	褐色土 3 a・3 b 出土遺物……………35	図41	中世 2・3 期の遺構……………61
図23	褐色土 2, 褐色土 1 a・1 b 出土遺物……………37	図42	S D 42・44 畔, S D 48 南壁層位 ……………62
図24	段差斜面・褐色土, 段差上・褐色土出土遺物……………38	図43	井戸 S E 22……………64
図25	S K 2, S K 3, S E 1, S E 7, S E 9 出土遺物……………39	図44	井戸 S E 23・24……………65
図26	赤褐色土 1 出土遺物……………40	図45	井戸 S E 25・27・31……………66
図27	灰色土出土遺物……………41	図46	井戸 S E 28・30……………67
図28	S K 1 出土遺物(1)……………42	図47	出土土師器の計測結果と遺物組成 ……………69
図29	S K 1 出土遺物(2)……………43	図48	S K 3～6・8 出土遺物……………70
図30	S K 1 出土遺物(3)……………44	図49	S E 23～26・28 出土遺物……………71
図31	表土出土遺物……………45	図50	S E 27 出土遺物……………72
		図51	S E 30・31 出土遺物……………73
		図52	S X 10・12・13・16 出土遺物……………75
		図53	S X 17 出土遺物(1)……………76
		図54	S X 17 出土遺物(2)……………77
		図55	S D 48 出土遺物……………79
		図56	S D 49 出土遺物……………80
		図57	S X 9 出土遺物(1)……………81

図58	S X 9 出土遺物(2)……………82		……………112
図59	S X 9 出土遺物(3)……………83	図83	S K 91・140・165・166……………113
図60	S X 9 出土遺物(4)……………84	図84	S K 60・S D 123……………114
図61	S E 22出土遺物(1)……………85	図85	S K 99・101・175 ……115
図62	S E 22出土遺物(2)……………86	図86	調査区第1面検出の遺構 ……117
図63	S E 22出土遺物(3)……………87	図87	S K 166, 調査区東端南部最下層, S X 120, S X 128, S X 57, S X 121出土遺物……………119
図64	S E 22出土遺物(4)……………88	図88	S K 165, S K 140, S K 91, S K 166, S K 175出土遺物 ……121
図65	S E 22出土遺物(5)……………89	図89	S K 91・140・165・166出土 土師器法量 ……122
図66	S E 29・32出土遺物……………90	図90	軒丸瓦, 軒平瓦 ……124
図67	S K 1・2・9・10・11出土遺物 ……………91	図91	第1層, S X 57, S P 171, S K 60, 包含層出土遺物 ……127
図68	S K 10・12出土遺物……………92	図92	S D 201, 包含層出土遺物……………129
図69	S X 5～7 出土遺物……………93	図93	煉瓦 ……131
図70	S X 11出土遺物……………94	図94	京都帝国大学附属病院関係遺物 ……………133
図71	S D 40・43・45出土遺物……………95		
図72	S D 42・44出土遺物……………96		
図73	茶褐色土出土遺物(1)……………97		
図74	茶褐色土出土遺物(2)……………98		
図75	茶褐色土出土遺物(3)……………99		
図76	暗茶褐色土・黄色シルト上面 出土遺物 ……100		
図77	S E 25・S X 17出土瓦 ……102		
図78	中世末期・近世の遺構 ……103		
図79	医学部構内における既往の 調査成果 ……105		
	病院構内 A J 16区の発掘調査		
図80	調査地点の位置 ……108		
図81	中央東西畔の層位 ……110		
図82	調査区第2・3面検出の遺構		
			本部構内 A T 25区の立合調査
		図95	本部構内南半の主要調査地点と 立合調査位置 ……140
		図96	今回の立合調査地点 (I・II期工区)……………141
		図97	地点8 - a 地点検出 尾張藩邸堀断面略測図 ……142
		図98	今回の立合調査地点 (III期工区) ……………143
		図99	本部構内立合調査出土遺物 ……144

	弥生前期土器の段階区分 ……187
京都大学北部構内採集の石棒	
図100 京都大学北部構内における 1977年度までの調査地点 ……164	図107 圧痕レプリカの対象資料と 圧痕SEM画像(1) ……190
図101 5地点, 4地点における 層位模式図 ……165	図108 圧痕レプリカの対象資料と 圧痕SEM画像(2) ……191
図102 1972年7月28日の 朝日新聞(夕刊)の記事 ……168	図109 圧痕レプリカの対象資料と 圧痕SEM画像(3) ……192
図103 『京都市遺跡地図』にみる 京都大学吉田キャンパスにおける 遺跡の変遷 ……171	図110 圧痕レプリカの対象資料と 圧痕SEM画像(4) ……193
図104 京都大学北部構内で見つかった 石棒 ……175	図111 圧痕レプリカの対象資料と 圧痕SEM画像(5) ……195
	北白川追分町遺跡の ドングリ集積遺構の炭素14年代
比叡山西南麓における 栽培穀物出現期の様相	図112 297地点の測定試料の出土状況 ……………202
図105 レプリカ資料採取地点の位置 ……………185	図113 297地点の基本層位……………203
図106 本稿で用いる縄文晩期～	図114 付着炭化物の年代測定をした 縄文土器 ……208

表 目 次

表1 中世井戸一覧表……………63	表5 同定結果一覧 ……198
表2 時計台周辺立合調査一覧 ……145	表6 北白川追分町遺跡における 縄文晩期前後の 放射性炭素年代測定 ……206
表3 京都大学構内遺跡の おもな調査 ……152	
表4 地点別観察資料点数内訳 ……198	

2013年3月31日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
2010年度

編集 京都大学文化財総合研究センター
発行 京都市左京区吉田本町
印刷 三星商事印刷株式会社
製本 京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300